

05 未来を担う科学技術系人材を育てる スーパーサイエンスハイスクール(SSH)



SSH

SSH
中高生の科学部活動支援

サイエンスア

理科支援員7

事業の概要

J STが支援する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、未来を担う科学技術系人材を育てることを狙いとして、理数系教育の充実を図る取り組み。SSHとなる高校は、文部科学省によって指定される。SSH指定校は各学校で作成した計画に基づき、創造性豊かな人材の育成に取り組んでいる。例えば、大学や研究機関などと連携して、体験的学習の推進や魅力的な理数系カリキュラムの開発を行うほか、将来国際的に活躍できる人材を育成するために英語での理科授業やプレゼンテ-

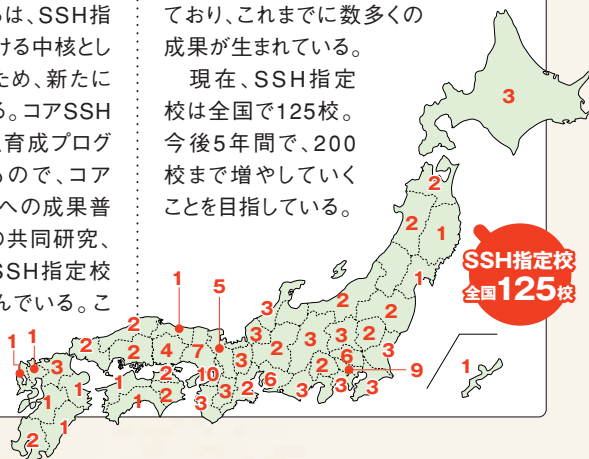
ション演習などの取り組みが行われている。

また、平成22年度からは、SSH指定校の理数系教育における中核としての機能の強化を図るため、新たに「コアSSH」を設けている。コアSSHは、従来の「中核的拠点育成プログラム」などを改組したもので、コアSSH指定校は近隣高校への成果普及、他のSSH指定校との共同研究、海外の学校との連携、SSH指定校の教員連携にも取り組んでいる。これらの活動により、広く理数系教育の充実が図

られるのである。

SSHの事業は今年で9年目を迎えており、これまでに数多くの成果が生まれている。

現在、SSH指定校は全国で125校。今後5年間で、200校まで増やしていくことを目指している。



指定校の活動事例より

福井県

福井県立藤島高等学校

福井県立藤島高等学校は、平成16年度にSSHに指定され、大学や研究機関との連携や校外研修などの教育活動を推進し、実績を積み上げてきた。そして平成21年度から新たに、平成25年までの5年間のSSHの指定を受けている。

藤島高校の取り組みの概要は、「科学研究の基礎と科学技術に対する見識を有する将来性豊かな理数系人



材を育成するカリキュラム研究」「普通科高校における科学コミュニティ構築のための活動」「育てたい生徒像を実現するためのカリキュラム研究」の3つ。これに基づき、講演会や、最先端研究者を招いた講座などの具体的な活動を行っている。

また、平成21年度には「中核的拠点育成プログラム」として「南部陽一郎先生の研究への道、その第一歩」を企画。将来の福井県あるいは日本の量子力学や素粒子物理学の研究の中心となる生徒を創出することを目的として、藤島高校以外の福井県内の意欲的な高校生も参加する機会が設けられた。

このプログラムに参加した生徒たちは、大学での量子力学・素粒子物理学に関する講義、大学研究室での小グループによる課題研究、研究所見学などのプログラムを体験した。

スーパーサイエンスハイスクール

生徒研究発表会



SSH生徒研究発表会は、SSH指定校の代表生徒が集結し、日ごろの研究成果を発表するイベント。今年は、8月3日、4日にパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)で開催された。当日は生徒による口頭やポスターによる研究発表が行われ、「数理生態学に基づく感染症の流行予測～感染症モデルの構築と数学的考察～」で文部科学大臣表彰を受賞した兵庫県立神戸高等学校などのべ27校が表彰された。

TEXT：大宮耕一